

平成4年度 第21回「男と女 私の生活」について

調査の目的

本調査は、社会情勢が変化するなかで、男女がよきパートナーとして、心豊かに生きることができ
る富士市を目指した事業を推進するための基礎資料とすることを目的とした。

調査の設計

1. 調査地域 富士市全域
2. 調査対象 富士市在住の満20歳以上の男女
3. 標本数 3,000人
4. 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
5. 調査方法 郵送調査
6. 調査期間 平成4年9月15日～9月25日

回収結果

1. 発送数 3,000人(100.0%)
2. 回収数 1,362人(45.4%)

集計表

問1 あなたは、毎日の生活のなかでどのような家事をしていますか。時々することも含め、8つ以
内で選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	掃除	69.4
(2)	洗濯	60.6
(3)	食事の用意や片付け	65.5
(4)	買物	68.9
(5)	ごみ捨て	64.7
(6)	アイロン掛け	34.7
(7)	ふろの用意や掃除	65.2
(8)	布団の上げ下ろし	53.5
(9)	家のちょっとした補修	32.4
(10)	電球や蛍光灯の取り替え	37.6
(11)	庭や植木の管理	37.0
(12)	家計のやり繰り	34.5
(13)	その他	1.9
(14)	なにもしない	3.6
	計	629.5

問2 あなたは、仕事と家事・育児、男と女の役割をどのように思いますか。

番号	選択肢	パーセント

(1)	男は仕事、女は家事・育児	13.5
(2)	女は仕事、男は家事・育児	0.7
(3)	男は仕事、女は主に家事・育児をし余裕があれば仕事	46.5
(4)	女は仕事、男は主に家事・育児をし余裕があれば仕事	0.4
(5)	男女とも仕事をし、家事・育児は主に女	11.5
(6)	男女とも仕事をし、家事・育児は主に男	0.1
(7)	男女とも仕事をし、家事・育児も男女で公平に分担する。	21.9
(8)	その他	2.2
(9)	わからない	3.2
	計	100

問3 あなたは、夫婦共働きを続けていく上で、障害になることがありますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	ある	63.1
(2)	ない	20.3
(3)	わからない	16.5
(4)	未回答	0.1
	計	100

問3-1 問3で「ある」と答えた方に伺います。どんなことが障害になると思いますか。2つ以内で選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	出産・育児	46.7
(2)	子どもの教育	34.5
(3)	家事	40.0
(4)	お年寄りや病人の世話	40.3
(5)	家族の理解・協力が得られない	14.8
(6)	職場の慣行や雰囲気	7.8
(7)	その他	2.4
(8)	未回答	0.1
	計	186.6

問4 生活していく中で仕事や家事以外にいろいろな社会活動がありますが、あなたはどのような活動をしていますか。3つ以内で選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	ボランティア活動	8.8
(2)	町内会活動	33.3
(3)	婦人会活動	8.0
(4)	子供会活動	7.6

(5)	PTA活動	8.7
(6)	青年団活動	1.2
(7)	老人会活動	5.4
(8)	消費生活活動	1.1
(9)	市民運動	2.4
(10)	労働組合活動	4.0
(11)	近所の仲間の集まり	20.3
(12)	スポーツや文化のサークル活動	20.1
(13)	宗教活動	5.2
(14)	学習活動(夜学・資格取得・教育講座)	9.5
(15)	その他	2.3
(16)	とくにない	34.3
	計	172.2

問4-1 問4で「活動している」と答えた方に伺います。あなたが参加している社会活動の中で、運営のための役員や企画立案の中心になっている活動がありますか。2つ以内で選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	ボランティア活動	4.6
(2)	町内会活動	16.7
(3)	婦人会活動	4.0
(4)	子供会活動	3.7
(5)	PTA活動	4.6
(6)	青年団活動	0.4
(7)	老人会活動	4.2
(8)	消費生活活動	0.7
(9)	市民運動	0.8
(10)	労働組合活動	2.3
(11)	近所の仲間の集まり	6.7
(12)	スポーツや文化のサークル活動	9.6
(13)	宗教活動	4.0
(14)	学習活動(夜学・資格取得・教育講座)	1.6
(15)	その他	2.0
(16)	とくにない	53.1
(17)	未回答	0.3
	計	119.3

問5 あなたが何かの社会活動をするとき、障害になったり障害になるだろうと思われることがありますか。1つ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	仕事が忙しい	29

(2)	家事が忙しい	4.0
(3)	小さい子供がいる	7.1
(4)	高齢者や病人がいる	5.9
(5)	経済的にゆとりがない	6.0
(6)	精神的にゆとりがない	6.2
(7)	体力的に自信がない	10.9
(8)	家族の協力が得られない	2.0
(9)	活動するための情報が得られない	5.0
(10)	その他	6.7
(11)	障害はない	16.7
(12)	未回答	0.4
	計	99.9

問6 男と女の区別なく共に仕事や家事、育児、社会活動に参加できるようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。2つ以内で選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	日勤パートタイムを問わず週休二日制の確立	29.8
(2)	残業を減らす	11.9
(3)	介護休暇制度や男性の育児休暇制度を取り入れる	11.5
(4)	病人や老人の介護施設を充実する。	31.8
(5)	放課後も子供たちをみてる施設をつくる	7.2
(6)	育児・保育施設を充実する	11.5
(7)	男性と女性の役割分担について考え直す	19.2
(8)	男性がもっと積極的に家事・育児に参加する	20.3
(9)	子供のときから家庭や学校で男女平等教育を行う	14.6
(10)	その他	2.1
(11)	わからない	14.0
	計	173.9